



川崎市技能職団体連絡協議会

# 技 連 協 だ よ り

発行責任者 会 長 高 畠 稔  
編集責任者 教育宣伝部会 松本 洋子

事務局  
川崎市川崎区宮本町1番地  
044(200)2299



## 年頭にあたって 会長 高 畠 稔



新年、あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、国内で20年ぶりとなる大阪万博の開催や、初の女性首相の誕生など、歴史的な出来事があった一方で、夏場における連日の猛暑・最高気温の更新や、米不足による価格高騰、住宅地等での熊被害の多発など、気候変動の影響を実感させられた年でもありました。

昨年の技連協の活動に目を向けますと、引き続きてくのかわさきでの「技能フェスティバル」を盛況のうちに開催いたしますとともに、後継者育成事業である「技能職者に学ぶ」も5校で実施し、各校から好評をいただいております。各団体の御協力に対しまして、この場をお借りして感謝を申し上げます。

技連協が長年にわたり応援している川崎フロンターレについても、昨年7月に応援観戦会を開催し、昨季優勝を果たした鹿島アントラーズを相手に見事逆転勝利をつかみ、川崎市食肉商業協同組合さんの御協力で「あんたが大賞」を贈呈させていただきました。残念ながらタイトルの獲得には至りませんでした。クラブ創設30周年を迎える今年は、さらなる活躍を期待したいと思います。

また、昨年11月には、厚木市にて全国会議が開催されました。技能職者における後継者不足や人材育成の問題は、全国的な課題であり、会議でも各都市における取組や全国会議のあり方などについて議論をいたしました。当協議会においても、この課題にこれまでも増してしっかりと対応していく必要がございますので、川崎市などと連携しながら、「技能職者に学ぶ」等の後継者育成事業に重点的に取り組むとともに、市内最大の技能職の祭典である「技能フェスティバル」など、技術・技能への関心を高めるイベント等の充実を図ってまいりたいと考えております。

今年の干支は「午（うま）」ですが、特に本年は60年に一度の「丙午（ひのえうま）」にあたり、躍動・前進・決断力を象徴し、勢いとエネルギーに満ちて、活動的になる年とされています。この干支の勢いにあやかり、技能の価値を未来へつなぐため、さまざまな課題に果敢に挑戦し、力強く駆け抜ける一年としてまいりたいと存じますので、皆さまからの引き続きの御支援、御協力をお願いいたします。

結びに、皆様の新しい一年が実りある年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。



# 年頭のごあいさつ

川崎市長 福田 紀彦



新年、あけましておめでとうございます。

皆様にとりまして、今年一年が明るい話題にあふれ、実りの多い良い年になりますようお祈りいたします。

昨年を振り返りますと、川崎市は市制101年目を迎え、これまで多様で多彩な人々が築いてきた川崎のすばらしさを引き継ぎながら、市民の皆様とともに、新たな始まりを踏み出す年となりました。一方で、地球温暖化によって夏の暑さが過去最高となるなど、私たちの暮らしを取り巻く環境の変化が強く感じられた年でもありました。これからも市民の皆様が安全で安心して心豊かに暮らせる川崎市となるようなまちづくりに取り組んでまいります。

市民一人ひとりの暮らしに寄り添う、「安心のふるさとづくり」としましては、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムを推進するとともに、不安なく子育てができるよう、小児医療費助成制度の拡充や、子育て世代が円滑に住み替えできるしくみづくりなどを進めてまいります。

こうした取組を支える「力強い産業都市づくり」として、新川崎・創造のもりを中核とした「量子イノベーションパーク」の形成に向けた整備を進めるほか、高度な産業が集積する本市の地域特性を踏まえ、次代の産業を担う人材を育成するための高等専門学校の設立に向けた取組を推進してまいります。併せて、各拠点駅周辺の都市整備を進めるとともに、地域公共交通ネットワークの形成を引き続き進めてまいります。

また、脱炭素社会の実現に向けて、プラスチック資源一括回収の対象地域を全市に拡大するほか、市立学校や住宅に設置される太陽光発電設備からの余剰電力を地域に還元する「スクール発電所」、「ホーム発電所」の取組を進め、再生可能エネルギーの地域循環を進めてまいります。

人口増加が続き、活気に満ち溢れた本市においても、近い将来、人口減少に転じることが見込まれますが、基礎自治体として安定した行政サービスを提供する責務を果たすためには、行政体制を効率化し、大都市の役割を最大限発揮できる「特別市」のしくみが必要不可欠です。さらに、この制度は、大都市が圏域の発展を牽引し、我が国全体の成長・発展につながるものと捉えており、その早期実現に向け、全力で取り組んでまいります。

引き続き、「成長」と「成熟」の調和する「最幸のまち かわさき」の実現に向けて取り組んでまいりますので、皆様の御協力をお願いいたします。

## 令和7年度 第52回総会

5月27日（火）「てくのかわさき」にて第52回技連協総会を理事49名中47名（委任25名）の参加により開催いたしました。

会則に従い 岩見 豊太郎 常任理事を議長に選出し、令和6年度の役員体制、部会構成、役員の関係機関での役職、事業報告、会計決算報告、会計監査報告を報告するとともに、令和7年度の実業計画（案）、青年部の休部について（案）、会計予算（案）、役員体制（案）が審議され、承認可決されました。なお、今回の総会をもって、青年部の休部（規約の改正・規程の新設）が承認されたことにより、青年部は活動を休止することとなりました。



役員の変更では、山本副会長及び鈴木副会長が退任され、令和7年度は会計監査を含め、9名の役員体制となりました。また、退任された山本副会長は、新たに相談役に就任いただきました。

総会終了後には、懇親会が盛大に行われ、山本相談役に、加藤副市長から感謝状が授与されるとともに、技連協から花束の贈呈が行われました。

### 令和7年度役員体制

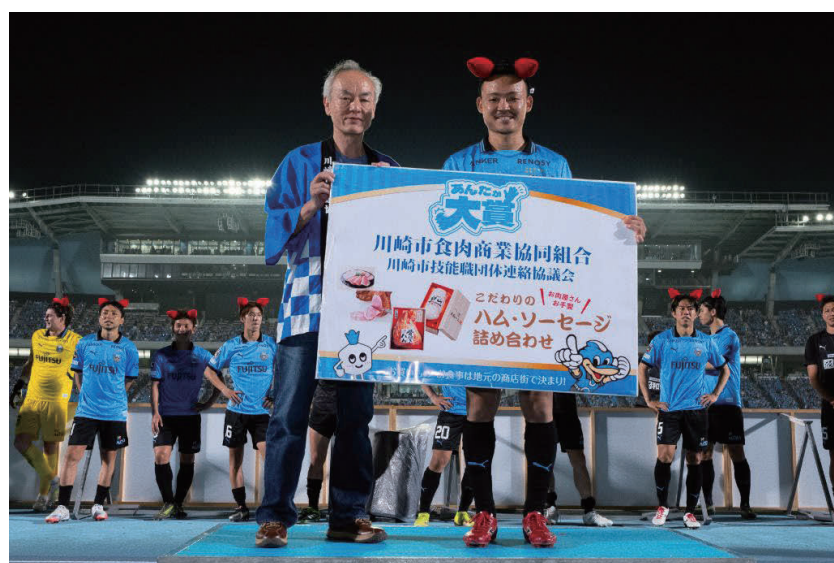
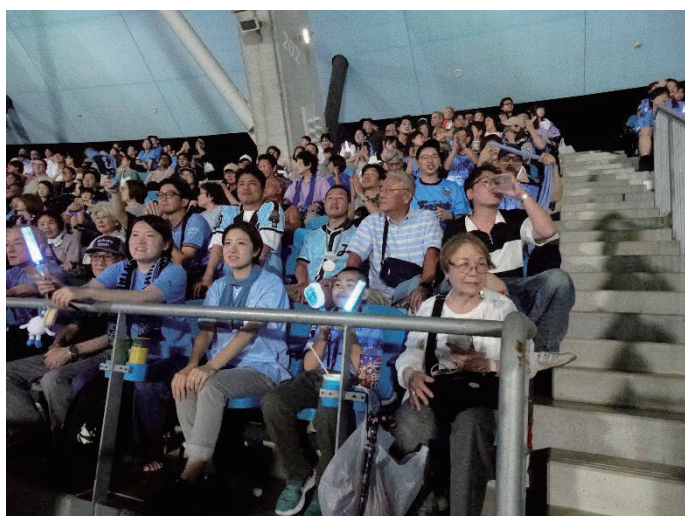
役職名	氏名	所属団体名
会長	高島 稔	一般社団法人 神奈川県広告美術協会川崎支部
副会長	佐藤 浩史	川崎建設労働組合連合会
副会長	井口 康明	川崎建築労働組合
副会長	中島 弘貴	川崎インテリア表具組合
副会長	深谷 大介	一般社団法人 川崎市鍼灸マッサージ師会
副会長	松本 洋子	川崎美容組合
会計	森山 晴道	川崎石材商工業組合
会計監査	吉田 武	横浜建設一般労働組合川崎支部
会計監査	鈴木 健一	川崎市美容連絡協議会



## 川崎フロンターレ応援観戦デー

7月5日（土）、毎年恒例の「技連協川崎フロンターレ応援観戦デー」を開催いたしました。技連協の賛助会員である株式会社川崎フロンターレの応援観戦会はJ2リーグ時代から続いており、今回は技連協から約114名の大応援団が結集いたしました。

当日は、対戦相手である鹿島アントラーズに対し、前半に先制を許したものの、前半ロスタイム及び後半に得点を挙げ、見事逆転勝利をつかみました。試合後、もっとも印象に残った選手に与えられる「あんたが大賞」には、持ち前の運動量で攻守にわたって存在感を発揮した 河原 創 選手が選ばれ、川崎市食肉商業協同組合に提供いただいた「お肉屋さんお手製こだわりのハム・ソーセージ詰め合わせ」は高畠会長から贈呈させていただきました。昨シーズンは残念ながら無冠に終わりましたが、アジアの大会でも準優勝と好成績を収めており、今年はクラブ創設30周年として、躍進を期すシーズンとなりますので、フロンターレのさらなる飛躍に向けて技連協一丸となって応援しましょう。



©KAWASAKI FRONTALE

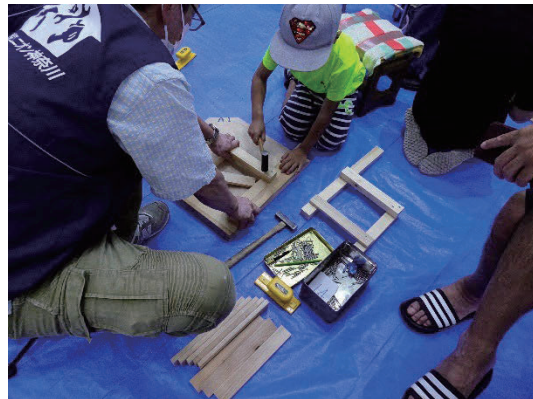
## 技能フェスティバル2025

9月28日(日)「てくのかわさき」にて、ものづくりの楽しさを伝える市内最大の技能職者の祭典「技能フェスティバル2025」を開催いたしました。当日は好天にも恵まれ、昨年につき多くの家族連れで会場は大いに賑わい、子ども達は技能職者の素晴らしい技術や工夫に触れて、ものづくりの楽しさを体感していました。

当日は、食肉、自動車整備、広告美術、着付け、管工事、建築、和裁、畳、左官、内装仕上、クリーニング、塗装、表具インテリア、鍼灸マッサージ、理容・美容、洋装など28団体が出展し、市民生活を支える様々な技能の体験や「かわさきマイスター」実演コーナー、縁日コーナーなど親子で楽しめる数々の催しが行われました。

(来場者3,800人、チャリティ金額83,302円)





## 第26回 全国技能職団体連絡協議会会議

11月7日（金）、8日（土）第26回全国技能職団体連絡協議会会議が厚木市のレンブラントホテルにて開催されました。川崎市を含む12都市が参加し、協議会への入会促進に向けた取組、後継者の確保や人材育成、他市・他府県からの入会、今後の全国会議の運営などの議題について熱心な討議が行われました。また、2日目は市内視察として、「あつぎ郷土博物館」やあつぎ技能祭・あつぎ国際大道芸の見学などが行われました。



## 経営サポート事業

昨年は、経営サポート事業として「パワハラのない職場環境へ」と題したセミナーを11月18日（火）に開催しました。

当日は、講師として 寺尾 嘉代（てらお社会保険労務士事務所 代表他）氏をお招きして、ハラスメントの種類や定義、事例や必要な対策例などについての講習及び質疑などを行いました。

今後も皆様のお役に立つセミナーの開催を予定しておりますので、ぜひご参加ください。

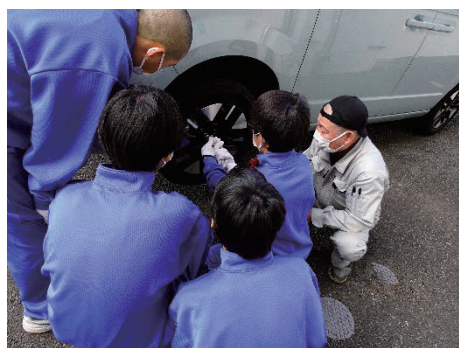
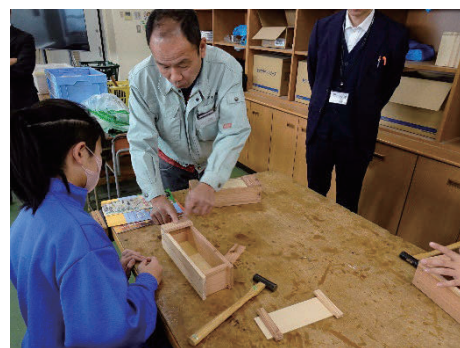


## 技能職者に学ぶ

令和7年度後継者育成事業「技能職者に学ぶ」を、以下の中学校で実施いたしました。

参加職種として、表具インテリア・内装仕上・造園・着付け・理容・石工・自動車整備・和服裁縫・大工・電気設備・美容・洋裁・鍼灸マッサージ・塗装・広告美術・建築設備・建築板金・畳・製菓の19職種24団体に御協力いただき、12月に3校で実施し、2月に2校で実施予定です。令和7年度も引き続き御協力をお願いいたします。

<令和7年度実施校(予定含む)> 平、田島、高津、井田、中野島 中学校





## 技能功労者等表彰

例年、長年にわたり技能の研鑽に努め、川崎市の産業の発展や市民の豊かな生活に貢献してきた方々を表彰する「川崎市技能功労者等表彰式」を川崎市主催で開催しております。

今年度は、会場である川崎市産業振興会館の改修工事のスケジュールにより、年明けの2月6日（金）にて、原市議会議長や関商工会議所副会頭、青木藤沢市技連協会長を来賓として御臨席いただき開催されます。

表彰式では、今年は数年ぶりに永年特別功労者の受賞が予定されており、技能功労者・優秀技能者・優秀青年技能者の方々と合わせて合計88名の方々を対象として、福田市長から表彰状が授与されます。

### 令和7年度川崎市技能功労者等表彰者

表彰名称	従事年数	職種	表彰者	贈呈品
永年特別功労者表彰	60年以上 90歳以上	2職種	2名	表彰状、楯
技能功労者表彰	30年以上 60歳以上	19職種	31名	表彰状、徽章・銀杯
優秀技能者表彰	20年以上 40歳以上	18職種	36名	表彰状、徽章・置き時計
優秀青年技能者表彰	10年以上 39歳以下	10職種	19名	表彰状、徽章・メダル

## 令和7年度 青年部総会（書面開催）

今年度は書面開催にて、令和7年度 技連協青年部総会を開催しました。

報告の部として、令和6年度の事業報告、決算・監査報告を行うとともに、議案の部として青年部の休部にかかる規約の改正、同じく青年部の休部等にかかる規程の新設、令和7年度の会計予算案を上程し、原案どおり承認されました。

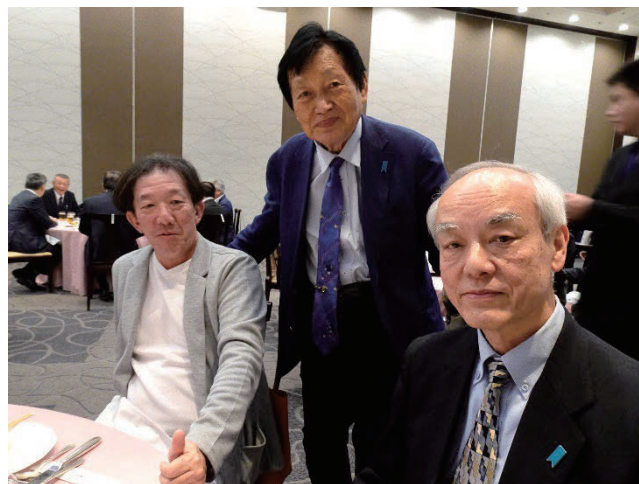
今回の承認を基に、当面の暫定役員体制を定めるとともに、青年部の休部（規約の改正・規程の新設）について、技連協総会にて諮ることとなりました。

## 全国技能職団体連絡協議会 第9回青年部交流会会議

11月7日（金）、「第9回青年部交流会」会議が親会と同じ厚木市にて開催されました。

当日は、全国から青年部を有する5都市が参加し、川崎市からもオブザーバーとして本田暫定青年部長が参加しました。会議では、今後の青年部交流会の開催方法について白熱した意見交換が行われ、次回は親会の全国会議と合同での開催と決定しました。

また、会議の後は「宮大工女将による 茶道体験マナー講座」が開催され、皆慣れない作法に戸惑いながらも、真剣に取り組んでいました。青年部交流会後の懇親会については、今年は親会と合同で開催されました。



## 令和7年度 婦人部総会

5月27日（火）てくのかわさきにて、令和7年度技連協婦人部総会を開催しました。  
会議では、令和6年度の事業報告、決算・監査報告を行い、次に議案として令和7年度の事業計画、予算、役員体制案の審議を行い、原案どおり承認されました。



## 婦人部 第35回 文化教養事業

今年は、7月5日（土）に親会と合同で、川崎フロンターレ応援観戦会を文化教養事業として実施しました。当日は、婦人部から5名が参加し、他の技連協応援団の方々と一緒に、暑い夏のサッカー観戦を楽しみました。



## 婦人部 ボランティア事業（中止）

婦人部では、部員が持つ技術を活かしてボランティア事業を実施しており、昨年は数年ぶりに1月18日（火）での開催を計画しておりましたが、施設側におけるインフルエンザの流行により中止となりました。

## 婦人部 施設見学研修会

10月28日(火)令和7年度 施設見学研修会が開催されました。今年度は「箱根寄木細工体験と酪農王国オラッチェ見学」を行い、33名の参加がありました。

(報告：婦人部 松本 勝代)

### 箱根 寄木細工体験と酪農王国オラッチェ

良い天候に恵まれ、溝の口から18名、川崎から15名が合流し、総勢33名で箱根へ向かいました。バスの前方には大山連峰の稜線が見え、日常ではなかなか見ることのできない風景でした。

木々の中の細い道を進み、十国峠の七曲りを気持ちよく走り抜け、酪農王国オラッチェには正午に到着。全員で記念撮影をして、ポークランチの昼食。とても美味しく、皆様にも大好評でした。

12時40分に出発し、見学や散策の時間が取れず残念でしたが、急いだため予定時間には寄木細工体験が始まりました。日頃目にする建築現場では白い木材を目にしますが、寄木細工に使う木材には白、赤、黄、茶、黒、濃い色、薄い色など、さまざまな色があります。その木本来の色を利用して作品を作ります。

私たちは菱形や三角形など、50色・40ピースの木片を組み合わせてコースターを作りました。15cm×13cmのプラスチック板の上に作品をボンドで貼り、固定します。皆様、それは真剣に取り組んでいました。

14時30分頃、添乗員さんが「皆様、そろそろ出発したいのですが」と声をかけると、「まだ出来ません」「時間ください」と皆一斉に叫びました。30分延長して、皆がそれぞれの作品を完成させることができました。とても楽しく、良い体験が出来たと思います。

ボンドが乾いていなかったため、板付きのままポリ袋に入れて持ち帰り、翌日乾いてからヤスリをかけ、ニスを塗って仕上げます。

私たちは平面的な作品を作りましたが、寄木細工では大きな木材にして削り、立体的な作品にもするそうです。ちなみに、正月恒例の箱根駅伝のトロフィーは寄木細工製品だそうです。

